

地域課題のリーサー講座



トータルコーディネーター：齊藤 雅美 さん
(認定NPO法人あおもりNPOサポートセンター理事長)

青森県弘前市生まれ。青森県警察職員を経て、2008年よりあおもりNPOサポートセンターでの活動を始め、2015年より現職。NPO中間支援組織としてNPOの基盤強化に取り組み、行政、企業、市民、NPOなど多様なセクターをつなぐ活動を行っている。また、地域に新たな価値を見出す活動として、小学生の職業体験事業や市民参加型のワークショップの開催などを行っている。

【地域を動かす 未来を拓く】～あなたの声が地域を変える～をテーマに、齊藤さんがこれまでNPO法人を通してどのような地域活動をしてきたのか、事例を紹介しながら講義をしていただきました。

▶ NPO法人が必要な理由とは

- ◇行政や企業では対応できない課題に取り組める存在だから
- ◇活動で得た経験や強みが社会を動かす力を持っているから
- ◇社会課題の解決やより良い社会の実現のために、市民が自発的に参加できる機会を提供しているから

▶ 地域のリーダーが必要な理由とは

- ◇地域課題の解決
- ◇地域活性化
- ◇住民の安全・安心の確保
- ◇地域コミュニティの結束
- ◇住民の主体性の育成

▶ 地域で子どもの未来を育もう【事例紹介】

- ◇本県が抱える深刻な課題のひとつ少子化問題を、子ども達が幸せに健康に暮らせる環境づくりによって解決に繋げるため、地域で子どもの未来を育むことをテーマとして小学生の職業体験事業を行った。



▶ 地域を動かす、未来を拓くための3つのポイント

- ◇最初は個人や小さなグループの気づきや問題提起から始まる
- ◇社会問題、ニーズを捉え、誰のために何をするのかを明確にする
- ◇その先の未来、目指す社会を描く

受講生同士で自己紹介をした後、“地域の好きなところ”や“地域の課題”を書き出す作業を行い、カテゴリーに分けていきました。次回からは、受講生それぞれが取り組むべき課題を発表し、グループごとにテーマを絞って解決策を考えていきます。

参加者の声

- * 同じような意見でも少し形や見え方が違った表現があり、自分の目線では見えなかった部分も、角度を変えればいろいろな良い所・課題点の表現になると勉強になりました。
- * 地方自治体に課題が山積みする今、小さな力だとしても、私達一人ひとりが問題を「自分事」として捉え、悩み、考え、行動に起こすことが大切だと改めて感じました。